

7項目について質問

3月定例町議会 一般質問

休耕転作

問 平成15年度、町の休耕転作目標及び助成について

答 県から町へ生産調整目標面積として、昨年度より18・



3 ha多い331・7 ha配分されている。各農家へは、配分率33・1%（昨年度対比1・7ポイント増）でお願いしている。また、助成金については、町の生産調整奨励金が昨年度と同額の総額3200万円を予算計上している。単価については、麦、大豆、飼料作物

で5 ha以上の団地化は10 a当たり3万5千円、景観形成作物等3万円、調整水田2万円、自己保全管理水田1万5千円、加工用米については1俵当たり3千円となっている。

ヘリコプター防除

問 水田農薬空中散布により人、車など被害が発生した場合の責任の範囲について

答 当町では、町、共済組合、農協、防除組合等の代表で組織している横芝町植物防疫協会が事業主体となり、927 haの水田へ1回の散布を行っている。実施に当たっては、農林水産航空事業実施指導方針並びに航空機を利用して行う農薬の散布に関する安全基準を遵守しながら万全を期して実施している。万一事故が発生してしまつたときは、当協会がその対応に当たり、郡や県の植物防疫協会が連携しながら事故原因等の調査・処理に当たることになっている。

町村合併

問 ①行政の巨大化は住民サービス・福祉の後退を招くのではないのか
②地域の特性を生かした行政運営はできるのか

答 ①急速に進んでいる地方分権、財政構造の悪化、少子高齢化等の問題から、これまで議会や住民座談会での意見をもとに成田市を中心とした空港圏11市町村の合併について、3月中には、合併協議会を設置すべく関係市町村と協議を進めてきたが、成田市議会が合併協議会の設置議案を否決したことにより事実上白紙となっている。

今後は、議会とともに新しい枠組みを模索しながら合併問題に取り組んでまいりたい。②地域の実情に応じた施策の展開を図るため地域審議会制度というものが設けられている。この地域審議会は、合併市町村の施策に関して、長から諮問を受け、また必要に応じて意見を述べることでできる